

背景・目的

市内の夏秋どり作型では‘麗月’が栽培されていますが、新たに発売された夏秋向け品種‘れおん’との特性を比較調査し、当地への導入の適否を検討しました。

結果

耕種概要

作型	ハウス夏秋どり栽培
各日程	播種：3月17日，鉢上げ：4月7日，定植：5月12日
収穫時期	6月30日～9月30日
栽植密度	株間40cm，ベッド幅90cm，2条植え，1本仕立て，2,631株/10a
灌水管理	‘麗月’に合わせた灌水管理とし、灌水量、灌水頻度は同じとした



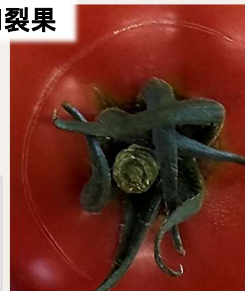
収量の比較

	総収量 (kg/a)	規格内収量 (kg/a)	規格内率 (%)	規格別収量 (kg/a)						規格外要素別収量 (kg/a)		
				3L	2L	L	LM	M	S	とがり果	裂果	その他
麗月	1,556	999	64.2	68	108	242	250	206	125	108	93	356
れおん	1,687	824	48.8	79	91	215	185	185	68	37	485	341

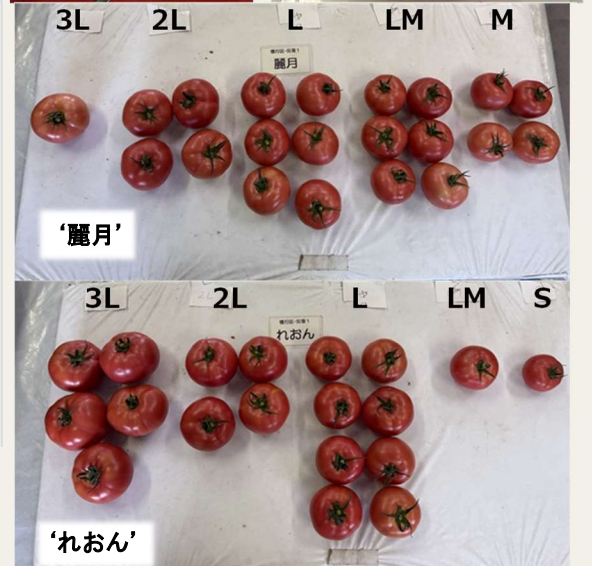
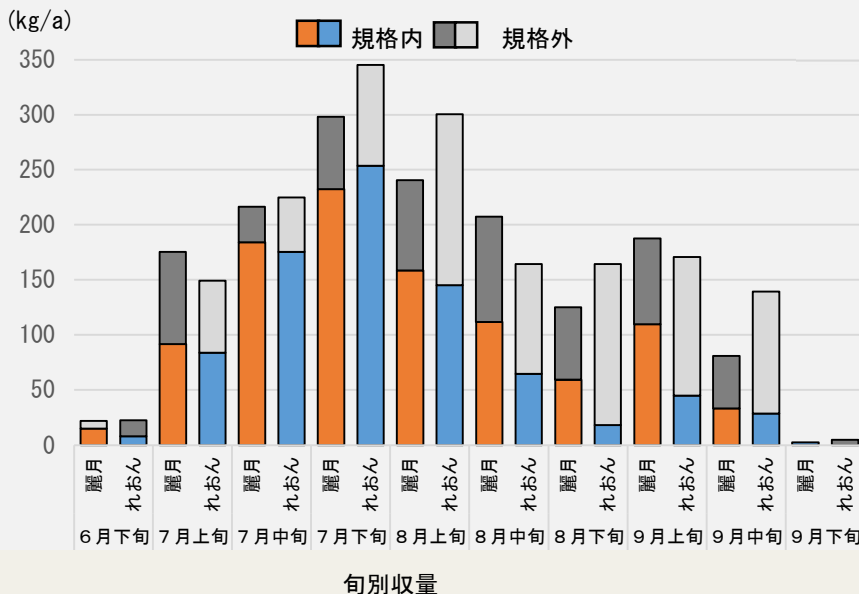
‘れおん’の特徴

- ・総収量は多かったが、規格内収量は少なかった。
- ・高値となるL・LM・M規格は少なかった。
- ・「とがり果」は少なく、「裂果」が多かった

同心円裂果



とがり果



7月31日収穫果

‘れおん’の規格外果について

- ・8月上旬収穫終了まで規格外収量が規格内収量を上回った。
- ・規格外収量のうち、裂果の発生が特に多かったが、次の原因が推測された。
 - ①極硬玉で裂果に強い‘麗月’より‘れおん’の果皮が柔らかく、高温・強日射の影響を強く受けた。
 - ②両品種の灌水量を同量・同頻度で栽培したため、‘れおん’の適正灌水量を上回った。

結果の活かし方

‘れおん’は生育面で劣る点はなく、総収量は多いですが、規格内収量は少なかったです。ただし、高温・強日射対策を強化し、適正灌水で栽培した場合は、収量性や品質が改善される可能性があります。